

50<sup>th</sup>  
Anniversary

A decorative floral wreath with small flowers and leaves, framing the text "50<sup>th</sup> Anniversary".A decorative flourish with symmetrical, flowing lines and a central vertical element.

北海道行政書士会札幌支部  
50周年記念誌

A decorative flourish with symmetrical, flowing lines and a central vertical element, identical to the one above.

# 50周年記念誌の発刊によせて

北海道行政書士会札幌支部長

宮元 仁



北海道行政書士会札幌支部創立50周年を迎えるにあたり、当該記念事業計画中の平成23年3月11日に東日本大震災という未曾有の大惨事が勃発しました。計画を白紙にという意見もありましたが、規模縮小ながら平成23年5月26日に記念式典を無事開催し、このたびその内容を折込んだ記念誌の完成をみるに至りました。

さて、戦後復興期にあった昭和26年、新憲法の下に誕生した行政書士法は、その後数次にわたる改正が行われた最中、昭和35年改正により北海道行政書士会札幌支部は産声を上げました。以後今日に至るまで、激務といえる会務の運営にあたられた諸先輩の多大なるご尽力に、あらためて深甚なる敬意と感謝の意を表するものであります。

更には、会員の皆様一人一人が今日まで「行政書士」としてその目的（行政書士法第一条）に対峙した一步一步の研鑽が全国4万人の行政書士を一つの力に結集する原動力となっていると言えます。これらの諸先輩の辿りました道程を省み、これからの行政書士、これからの札幌支部の進むべき道しるべの一つとなるよう、この記念誌を刊行致しました。

最後になりますが、限られた予算で平成23年度内発刊に心血を注がれた工藤・紺野・羽賀編集委員、記念事業本部の荒木・大沼氏をはじめとする準備委員の諸氏に対し心から謝意を表する次第であります。

平成24年2月



## 歴代支部長より

### 支部長時代の思い出

第5代支部長  
(昭和58年～昭和61年)

後平 邦 彰



昭和58年支部長に選任され、前支部長から引き継いだ事業を実行すると共に、車庫証明センター設立運営に尽力され佐々木四郎・倉盛両先生はじめ、大勢の先生の協力で現在も車庫証明・登録が業務の分野として確立いたしました。

社労士業務の分野も資格兼業者の独立により業務が減少するとの問題があり、鳥井茂・中川宏熙両先生に対応ご尽力をいただきました。

支部運営では、当時も本会一のマンモス支部と言う事で他支部より支部の分割論が上がりましたが、当時の総務部長安部力男先生と支部役員で討論され、対官庁折衝の事も考え、札幌支部の分割は行わない事とした。

その考えの基、佐藤良雄先生をはじめ歴代支部長に引き継がれ、現在も一団結し、支部運営にまい進している現宮元仁支部長をはじめ、各役員の活躍を祈念いたします。

今まで、支部運営に裏方として役割を担った元事務職員秋山淑江さんをはじめ歴代職員の貢献に感謝いたします。

終わりに、札幌支部は多数の行政書士より維持されてきました。退会した会員・死亡退会した会員・現会員・これから入会する会員のためにも、繁栄する事を願いたします。

### 昭和の終わりと平成の始まり

昭和62年から平成2年までの札幌支部長を振り返って

第6代支部長  
(昭和62年～平成2年) 佐藤 良 雄



昭和28年生まれの私は、34歳で当時47都道府県の単位会と比較しても24番目に相当する大きさの札幌支部の運営をお預かりする事となる。

先輩諸氏の勇氣ある決断に今も頭が下がる思いであり、直前の後平先生を始め阿部・五十嵐両副支部長の手助けと思いやりにも感謝で一杯である。

その後2期4年の北海道行政書士会の会長職を最後に会務から身を引き、現在も異なる役目に挑戦している。

平成17年から約2年、北海道知事の行財政改革の担当顧問を、現在は日本の成長戦略の為の内閣府のワーキンググループの委員に就任している。

私の札幌支部長としての最大の任務は、行政書士業に経営すなわちマーケティングやマネージメントを取り入れることであり、会員が職業として立派に成り立つ事務所作りを指導してきた。

その後2004年8月に行政書士法が改正され法人化が可能となり、予想通り行政書士の知識や実践力に加え経営力が問われる時代がやってきたのである。

時代を見据えた優秀な行政書士が、より成長されん事を祈っている。

## 在任期間中の思い出

第8代支部長  
(平成5年～平成6年)

米田 倶 實



平成6、7年度、当支部は激動の時期だった。年間12,000円の支部費徴収を巡って反対派の会員群と時の執行部の争いが激化し、総会における執行部の強行採決を不服として50数名の会員が揃って退席したため総会は流会となった。2ヶ月後の出直し総会で今度は執行部が総辞職し全員退席した。このとき議長を務めていた自分はこの総会を乗り切るため、この総会のみで支部長を選出して総会を終えた。

この激動総会の選挙で支部長の命を受けたのが自分であった。

支部長を受けて次の難題が待っていた。前年度の会計を調べてみたら支部費を徴収したため財政は豊かになったが活動が伴わないため使い切れない金がどっさり、慌てて期末寸前に無理な行事を執行したが参加者僅少で行事が成立せず不適切な支出だけが格好悪く残っていた。

今一つは現金紛失事件があった。支部事務所の机の引き出しから現金数十万円が紛失したとのことで財産引き継ぎができない。これら難題の処理が先だって散々のスタートだった。

このころから自分は（今でも）総会に委任状は不要であると考えていた。600人の会員を抱えて全員が出て来たら収容しきれないし100人以上の出席があらう筈がない。それなら一層総会を代議員制にしたらどうだろう、定足数に関係なく出て来た者だけで総会をしたら良いではないか、規約改正案を作って臨時総会に諮ってみたが執行部内にも反対者が出て賛否同数ながら廃案となった。

ここで自分は年度初めの激動を乗り越えて任務の終わりを感じた。支部会費廃止を機に後継に小野氏を打診したところ快く受諾してもらい短い在任期間を終えた。

米田倶實元支部長は平成23年10月12日、逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 支部総会の思い出

第9代支部長  
(平成7年～平成10年)

小 野 廣



その頃（平成4～7年）札幌支部総会は、議論沸騰し騒然としていた。それは執行部が総会に支部規約改正案を突如提案したことに始まるのだが、改正の中身は、支部会費を会員から毎月徴収しようということだった。会費徴収の提案理由は、支部予算が少ないので渉外活動も十分にできないなど、支部活動が大いに支障をきたしている、との説明だった。総会では賛成、反対が拮抗していたが、紆余曲折を経て支部会費徴収が可決された。いざ徴収を始めると、当時支部会員が580名程度であったが、納付する会員はその半数にも満たない程で、兼業者に至っては殆どの者が納入を拒否する始末であった。私は、本会支部長会議で札幌支部に対する支部交付金が少なすぎる、会員規模に見合った交付金の傾斜配分をするべきだ、と再三強硬に主張した結果、交付金も適正に交付されるようになったので、この不公平極まりない支部会費徴収制度を、ときの支部総会の同意を得て、凍結することに至った経緯を記しておきたい。

## 「ストップ悪質商法」と寸劇

第10代支部長  
(平成11年～平成14年)

板垣俊夫



私は、札幌支部長を平成11年5月から15年5月まで2期4年の任期を務めさせていただきました。支部長時代の思い出深い事業執行として、平成13年4月1日施行された消費者契約法に基づく「ストップ悪質商法」を題材に对外啓発事業の一環として「行政書士会市民セミナー」を平成14年11月23日にかでる2・7ホールにおいて、催眠商法、キャッチセールス商法、開運商法の3事例を寸劇の形で取り上げ、プレゼンターを私が、コメンテーターとしてその解決策を伊東秀子弁護士が解説するという手法で上演いたしました。演劇のキャストは全員札幌支部理事で構成し、脚本の作成や、劇の演出、指導は全て私がとり行いました。ホールに来られた150数名の観客席からも質問を受け、その解決策のアドバイスを伊東秀子弁護士からいただきました。演劇を通して市民からの法律相談と对外啓発の広報活動を併せて舞台で行ったわけでありました。

時、すでに、9年の歳月を経っていますが、行政書士会の市民セミナー成功のために献身的に努力を尽くされた札幌支部理事、スタッフ、キャストの各位に改めてここに深甚の謝意を表させていただきます。ありがとうございました。

## 前支部長の真情など

第11代支部長  
(平成15年～平成20年)

篠原賢吾



札幌支部長を3期6年務めたことの思い出などを記せとのご依頼がありました。当時の支部会報の頁をめくり直すと、様々な事柄が思い浮かびます。支部の活動を支え、また定型的に実施する実務型研修活動の確立等に尽くされた多くの会員のみなさん、監事さんらに対する深い敬意と感謝の念が改めて湧きあがります。

1期1年目の夏8月、支部理事さん方と夏季海の家1泊旅行を参加者の自費で実施しました。意思の疎通を図りたいとの一心であったように思います。当日は、台風の余波による風と波で、肌寒い中、海に入ったのは理事さんのお子さん二人と私くらいでした。夕食後は、持ち寄った花火で遊び、ワイワイと過ごしました。その後、オロロンライン(213号線)沿いにある主な廃屋2軒を化け屋敷に見立てて、有志で肝試しを実施。結局、お化け、幽霊には出あうこともなく、落胆。しかし、明るいところへ戻ってびっくり、足など、大量の虫に刺されていて、全員重症でした。翌日は、ホームセンターであらかじめ買っておいた燗を民宿の庭先に勾配をつけて置いて、お昼の「流しそうめん」を楽しんだ後、海の家一泊旅行は解散しました。さらに、元気な者は、中小屋温泉まで足を伸ばしています。

2期目1年目には、「手続全体を視野に置いた実務型」研修を主たる会務と位置付けた支部事業方針を謳いました。当該実務に精通された会員さんや理事さんに講師をお願いして実務研修会が行われ、おおむね、現在支部で行われている実務研修会への橋渡しができたのではないかと考えております。

これは、担当役員さんの献身的努力に負うところが大きかったです。

2期目2年目から、ある理事さんらの発案に基づき「地区連絡会」組織を創設し、顔の見える札幌支部の端緒を開くことができました。まさに当事者能力を有する理事さんらでした。

3期目1年目には、基本方針として、会員の業務処理能力の向上、業務情報の提供、会員相互のパートナーシップの育成・強化を謳い、活動致しました。ここでは、「民意を考えない士業に未来はない」「品位保持・相互尊重」という両副支部長さんの基本理念が支えとなっておりました。

以上のように、楽しかったことも、会務執行についても、これに参加し支えていただいた皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

現在、皆様が作り上げた札幌支部の良質な気質が承継され、さらに発展されていることに深く敬意を表します。

また、年齢構成や前職、経歴が多様な行政書士ならではの諸活動に期待します。

最後に印象に残っている当時の支部理事会の一コマをご紹介します。

理事会では議題に関する背景説明や現状、目標や考え方等様々な意見が出ますが、あるとき意見が出尽くし、これを整理するとA案とB案のふたつに絞られたことがありました。そこで、どちらの案を採用すべきかさらに意見を求めると先輩にあたる理事さんから「あとは支部長の腹一つ」との意見が出されました。「腹をくくって決定せよ」とのご宣託です。このとき、理事会の運営方法が理事さんらに信頼されているのだなと感じたものでした。

# 行政書士会札幌支部男声合唱団

## 唄侍48

指揮：吉田 充  
ピアノ伴奏：萩原 麻代  
島田俊二郎／平松 良智  
内藤 誠／上野 裕士  
中山 太／森越 博嗣  
坂本 二郎／小山内一與  
大滝 昇／菅原 祐輔  
野口 哲郎／藤永誠一郎  
宮元 仁／所村 武彦  
齊藤 幸夫／金川 翼  
羽賀 亮介／長谷川政輝  
大沼 準／篠原 賢吾  
小川 孝雄／小松 信弘  
小谷 直人／松山 丈史  
荒木 徹





### 合唱曲のご紹介

1. 見上げてごらん夜の星を：永六輔、いずみたく、坂本九のトリオによる1960年代ヒット曲。
2. 乾杯：1980年代を代表する長渕剛のヒットナンバー。今や結婚式の定番ソング。
3. 地上の星：中島みゆきのロングヒットナンバー。2000年代を代表する曲として数々の記録を打ち立てた。
4. いざ起て戦人よ：男声合唱団では知らない人はいないという超スタンダード。



# 支部会員数と当時の主な出来事

## ●1960(昭和35)年

初代支部長 森口松太郎  
支部会員数 44名

### ●出来事

- ・新安全保障条約発効
- ・カラーテレビ放送開始
- ・ダッコちゃんブーム
- ・大卒初任給 16,115円
- ・札幌市人口 615,628人

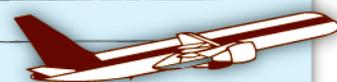


## ●1964(昭和39)年

支部長 森口松太郎  
支部会員数 105名

### ●出来事

- ・東海道新幹線開業
- ・海外旅行が自由化される
- ・大卒初任給 21,200円
- ・札幌市人口 750,315人



## ●1968(昭和43)年

支部長 森口松太郎  
支部会員数 179名

### ●出来事

- ・東大闘争など学園紛争が激化
- ・3億円強奪事件
- ・大卒初任給 29,100円
- ・札幌市人口 935,902人

## ●1972(昭和47)年

第2代支部長 野崎 幸  
支部会員数 262名

### ●出来事

- ・沖縄返還実現
- ・札幌冬季オリンピック開催
- ・大卒初任給 49,900円
- ・札幌市人口 1,099,102人



## ●1976(昭和51)年

第3代支部長 佐々木四郎  
支部会員数 388名

### ●出来事

- ・ロッキード事件
- ・大卒初任給 94,300円
- ・札幌市人口 1,275,548人

## ●1978(昭和53)年

支部長 佐々木四郎  
支部会員数 402名

### ●出来事

- ・日中平和友好条約調印
- ・新東京国際空港  
(現 成田国際空港)開港
- ・大卒初任給 105,500円
- ・札幌市人口 1,333,713人

●1982(昭和57)年

第4代支部長 伊藤 正敏  
支部会員数 511名

●出来事

- ・500円硬貨発行
- ・北炭夕張炭坑閉山
- ・大卒初任給 127,200円
- ・札幌市人口 1,463,076人



●1984(昭和59)年

第5代支部長 後平 邦彰  
支部会員数 568名

●出来事

- ・グリコ・森永事件
- ・1万円、5千円、千円新札発行
- ・大卒初任給 135,800円
- ・札幌市人口 1,519,764人

●1986(昭和61)年

支部長 後平 邦彰  
支部会員数 593名

●出来事

- ・男女雇用機会均等法施行
- ・ソ連チェルノブイリ原発事故
- ・大卒初任給 144,500円
- ・札幌市人口 1,566,871人

●1989(昭和64/平成元年)年

第6代支部長 佐藤 良雄  
支部会員数 572名

●出来事

- ・中国天安門事件
- ・ベルリンの壁が崩壊
- ・手塚治虫、美空ひばり死去
- ・大卒初任給 160,900円
- ・札幌市人口 1,645,095人



●1991(平成3)年

第7代支部長 宇野雄一郎  
支部会員数 583名

●出来事

- ・湾岸戦争勃発
- ・大卒初任給 179,400円
- ・札幌市人口 1,694,988人

●1993(平成5)年

第8代支部長 米田 倶實  
支部会員数 586名

●出来事

- ・細川連立内閣成立
- ・皇太子さま、雅子さん結婚の儀
- ・大卒初任給 190,300円
- ・札幌市人口 1,728,466人

●1995(平成7)年

第9代支部長 小野 廣  
支部会員数 582名

●出来事

- ・阪神大震災
- ・地下鉄サリン事件
  
- ・大卒初任給 194,200円
- ・札幌市人口 1,757,025人

●1997(平成9)年

支部長 小野 廣  
支部会員数 585名

●出来事

- ・消費税5%スタート
- ・北海道拓殖銀行、  
山一証券経営破綻
  
- ・大卒初任給 193,900円
- ・札幌市人口 1,791,221人

●2000(平成12)年

第10代支部長 板垣 俊夫  
支部会員数 557名

●出来事

- ・二千円札発行
- ・雪印乳業大阪工場で生産された  
牛乳により集団食中毒
  
- ・大卒初任給 201,389円
- ・札幌市人口 1,822,368人



●2007(平成19)年

第11代支部長 篠原 賢吾  
支部会員数 670名

●出来事

- ・郵政民営化がスタート
- ・「白い恋人」賞味期限を偽表示
  
- ・大卒初任給 198,800円
- ・札幌市人口 1,894,344人

●2009(平成21)年

第12代支部長 宮元 仁  
支部会員数 706名

●出来事

- ・丸井今井が札幌地方裁判所に  
民事再生法の適用を申請
  
- ・大卒初任給 208,306円
- ・札幌市人口 1,904,278人

●2011(平成23)年

支部長 宮元 仁  
支部会員数 751名

●出来事

- ・東日本大震災 M9.0
- ・福島原子力発電所事故レベル7
  
- ・大卒初任給 202,000円
- ・札幌市人口 1,915,542人

# 50周年式典 –表彰者とご来賓–

## 記念式典次第

1. 開会のことば
2. 物故者への黙祷
3. 式辞
4. 来賓のご紹介
5. 祝辞
6. 祝電披露
7. 表彰状の贈呈
8. 受章者代表謝辞
9. 50周年記念式典に際して
10. 札幌支部50年のあゆみ
11. 閉会のことば

## 表彰者

- 北海道行政書士会札幌支部 第5代支部長  
後平 邦彰 様
- 北海道行政書士会札幌支部 第6代支部長  
佐藤 良雄 様
- 北海道行政書士会札幌支部 第8代支部長  
米田 倶實 様
- 北海道行政書士会札幌支部 第9代支部長  
小野 廣 様
- 北海道行政書士会札幌支部 第10代支部長  
板垣 俊夫 様
- 北海道行政書士会札幌支部 第11代支部長  
篠原 賢吾 様

## 50周年記念式典 ご来賓ご芳名

- |               |         |
|---------------|---------|
| 石狩振興局 局長      | 荒川 剛 様  |
| 札幌市長          | 上田 文雄 様 |
| 石狩市長          | 田岡 克介 様 |
| 北広島市長         | 上野 正三 様 |
| 江別市長          | 三好 昇 様  |
| 恵庭市長          | 原田 裕 様  |
| 千歳市長          | 山口幸太郎 様 |
| 新篠津村長         | 東出 輝一 様 |
| 当別町長          | 泉亭 俊彦 様 |
| 札幌入国管理局 統括審査官 | 遠藤 太郎 様 |
| 石狩振興局指導課 課長   | 市橋 和雄 様 |
| 札幌運輸支局 支局長    | 今 武 様   |
| 顧問 北海道議会議員    | 梶谷 大志 様 |
| 顧問 北海道議会議員    | 吉川 隆雅 様 |
| 北海道行政書士会 会長   | 加藤 隆夫 様 |
| 旭川支部長         | 榎又 政浩 様 |
| 網走支部長         | 横内 寿治 様 |
| 根室支部長         | 井上 章二 様 |
| 釧路支部長         | 河原 香 様  |
| 十勝支部長         | 吉村 学 様  |
| 日高支部長         | 菊地 淳史 様 |
| 苫小牧支部長        | 山口美津男 様 |
| 室蘭支部長         | 高橋 國夫 様 |
| 小樽支部長         | 中嶋 秀夫 様 |
| 函館支部長         | 佐藤 聰 様  |
| 空知支部長         | 佐藤 武 様  |





平成24年3月  
札幌支部50周年記念誌編集委員会

